

## 集落活動センターかきせ開所式

蛸瀬川流域に位置する馬荷、御坊畑、大方橋川の3集落が連携し運営する「集落活動センターかきせ」が12月2日(日)、開所式を行いました。

同センターは、地域における担い手の育成や住民の健康増進など、地域活性化を目的に設立され、イベント部会、安心安全部会、集落活動部会、農林水産部会の4部会にわかれ活動しています。

開所式には尾崎正直知事をはじめ、町内外から約120人が出席。主催者を代表し、同センターの矢野健康会長から「地域が主体となり取り組もうと数年前から勉強会なども重ねてきた。これを契機に今後はさらに住みやすい地域づくりを目指していききたい」と挨拶がありました。

また、大西町長は、「美味しい料理やあたたかいおも



神踊りを披露する子どもたちと歌い手

てなしでスポーツ合宿など、宿泊者のさらなる誘致を進めていければ。地域の人たちはとても心強い。ともに頑張っていきたい」と今回の開所に対する期待を話しました。

その後、地域の子どもたちによる神踊りの披露や、看板かけ、餅投げなどがあり、施設内の見学も行われました。



看板かけをする矢野会長(写真中央)ら

なお、同センターは今後、現在町が推進しているスポーツツーリズムと連携し、宿泊施設としての運営や、地域の特産である七立栗の製品化にも取り組んでいく予定ということ。

式典終了後には祝賀会が行われ、地域住民の手作りによる料理を囲みながら出席者同士喜びを語り合いました。

## アームレスリング全日本大会で高知県初の2連覇

拳ノ川地区出身の矢野大輔さんが11月24日(土)、墨田区総合体育館(東京都)で行われた「第36回JAWA全日本アームレスリング選手権大会」の55キロ級ライトハンドの部で昨年に続き優勝。高知県の選手として初めての2連覇を達成しました。



2連覇を果たした矢野大輔さん

矢野さんは、2011年に高知市にあるアームレスリング道場へ見学に行ったことがきっかけで競技を始め、現在は四万十市に拠点を置く道場「高知龍腕」の代表を務めながら自身のトレーニングに励んでいます。

同大会への出場は今回が4回目。矢野さんは、昨年初優勝を果たしてから、腕だけでなく体全体を連動させ力を出すよう強化してきたということ。大会前には4カ月で約14kgの減量を行い、試合当日は4連勝の後、決勝戦へ駒を進めました。

「2連覇できた決め手は気持ちだと思う。昨年の優勝がまぐれではなかったことを証明したい気持ちもあり、プレッシャーも大きかったが、連覇を果たせてよかった。来年は同じ階級で3連覇か、さらに階級を上げるか、今後トレーニングをしながら検討していきたい」と話しました。



優勝メダル